

運用中ジオスペース探査衛星「あらせ」(ERG衛星) 打上げ成功

2016年12月20日、JAXAはジオスペース探査衛星(ERG)を搭載したイプシロンロケット2号機の打上げに成功し、ERG衛星には「あらせ」という愛称が付きましました。「あらせ」は、地球を取り囲む「ヴァン・アレン帯」という放射線の強い空間で、高いエネルギーを持つ電子がどのようにして生まれるのかを直接観測し、宇宙嵐が発達する謎の解明に挑む科学衛星です。ヴァン・アレン帯が地球周辺の宇宙空間で最も荒々しい粒子に満ちているとして、水が激しく波立ちながら流れている川を意味する「荒瀬」にちなんで命名しました。また、打上げを行った内之浦宇宙空間観測所の所在地である鹿児島県肝付町を流れる荒瀬川にもちなんだとい



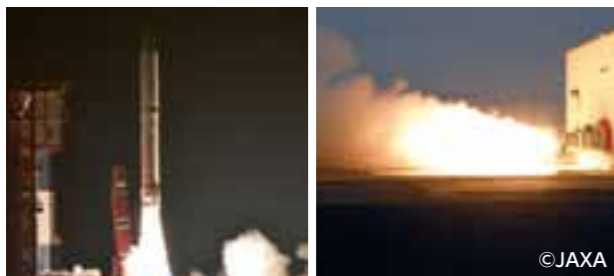
©JAXA

イプシロンロケット2号機

イプシロンロケットの打上げは、2013年9月以来、約3年ぶりとなりました。

2013年9月に打上げた試験機ではH-IIAやM-Vからの技術を継承することで短期間・低コストでロケット機体の開発を行いました。ロケットの打上げシステムは機体・設備・運用からなっていますが、イプシロンロケットでは自動点検などを導入し、地上設備のコンパクト化と運用性の革新を果たすなど、高頻度の打上げが可能な次世代の宇宙輸送システムが導入されました。

今回打上げられた2号機では、「打上げ能力の向上(試験機に比べて30%向上)」と「搭載可能な衛星サイズの拡大」を実現しました。なお、2号機の第2段モータの地上燃焼試験は能代市の能代ロケット実験場で実施されました。



イプシロンロケット打上げ

能代ロケット実験場

4月

サガミハラ共和国 神奈川県相模原市

1日、2日 市民桜まつり

市役所さくら通りを主会場に、市民の手づくりによる催し物や市民パレード、銀河連邦物産展など盛りだくさんの内容でみなさんをお迎えます。



5月

サク共和国 長野県佐久市

3日、4日、5日 佐久バルーンフェスティバル2017

全国から集まる色とりどりの熱気球約40機が青い空に一緒に舞い上がり、3日間の白熱した戦いを繰り広げます。開催25周年を迎える今年は、アトラクションを例年以上にパワーアップして皆様のお越しをお待ちしております。



カクダ共和国 宮城県角田市

5日 かくだ宇宙つ子まつり

ペットボトルロケット打上げ体験やニジマスつかみ取りなど、楽しいイベント盛りだくさん。また、スペースタワー・コスモハウスへの入場が無料です。



8月

サンリクオオファト共和国 岩手県大船渡市

5日、6日(予定) 三陸・大船渡夏まつり

真夏の夜を照らす花火大会のほか、市民道中踊りや海上七夕船巡航など見どころ満載です。



ノシロ共和国 秋田県能代市

20日、21日 のしろ銀河フェスティバル2017

JAXAの先生方による「宇宙科学セミナー」や、ロケット発射音響体験など、「宇宙」を身近に感じられる2日間。今年は水ロケット競技会のほか、プロジェクトマッピングなども予定しています。



9月

タイキ共和国 北海道大樹町

17日 柏林公園まつり

樹齢100年を超える柏の巨木が林立する柏林公園で、海あり山ありの大樹町ならではの味覚を満喫できる秋の産業まつりです。秋鮭のつかみ取りや和牛まつり、歌謡ショーなどイベントも盛りだくさんです。



10月

ウチノウラキモツキ共和国 鹿児島県肝付町

15日 高山やぶさめ祭

約900年の伝説を誇り、中学2年生の男子が射手を務める高山流鎧馬。これにあわせて様々なイベントが催される「高山やぶさめ祭」が開催されます。



銀河連邦 建国30周年

銀河連邦は宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設がある7つの市町村が、ユーモアとパロディの精神で連邦国家を組織し、それぞれの共和国が手を取り合い、相互の理解と親善を深めることにより、宇宙平和の一翼を担うとともに、人々の笑顔あふれるユートピアの創造を目指しています。1987年11月8日に交流をはじめて以来、今年で建国30周年を迎えることとなりました。銀河連邦ではこれからも子どもたちの留学交流をはじめ、スポーツ交流や経済交流など「宇宙」をテーマに様々な交流事業を行い、友好を深めていきます。

銀河連邦子ども留学交流 IN ウチノウラキモツキ共和国

銀河連邦で毎年実施している子ども留学交流事業。2016年は8月5日から8月7日まで、ウチノウラキモツキ共和国で開催され、銀河連邦7共和国の子ども特使41名が参加しました。今回の交流では、ペットボトルロケット製作から始まり、JAXA内之浦宇宙空間観測所や、鹿屋自衛隊資料館及び格納庫・航空機等の見学を通じ、宇宙や航空機への関心をさらに深めました。台風が接近していたため天候は不安定でしたが、最終日の夜にはみんなで内之浦ロケット祭りの花火を見ることができました。今回初めて会った子ども達も、活動を通じ、打ち解けあい充実した3日間を過ごすことができました。



タイキ共和国 北海道大樹町 大樹航空宇宙実験場



ノシロ共和国 秋田県能代市 能代ロケット実験場



サク共和国 長野県佐久市 白田宇宙空間観測所



ウチノウラキモツキ共和国 鹿児島県肝付町 内之浦宇宙空間観測所



サンリクオオファト共和国 岩手県大船渡市 三陸大気球観測所 (H19.9.29閉所)



カクダ共和国 宮城県角田市 角田宇宙センター



サガミハラ共和国 神奈川県相模原市 JAXA相模原キャンパス

LINE UP 銀河連邦NEWS-第5号-

- 銀河連邦建国30周年&銀河連邦子ども留学交流 1
- カクダ共和国加盟調印式&銀河連邦フォーラム2016開催 2
- 銀河連邦各共和国からのお便り 3
- トピックス&イベントカレンダー 4

銀河連邦各共和国へのお問い合わせは右記の番号まで

- タイキ共和国 ☎01558(6)2111
- ノシロ共和国 ☎0185(52)2111
- サンリクオオファト共和国 ☎0192(27)3111
- カクダ共和国 ☎0224(63)2111
- サガミハラ共和国 ☎042(754)1111
- サク共和国 ☎0267(62)2111
- ウチノウラキモツキ共和国 ☎0994(65)2511

その他、銀河連邦物産展が行われますので、各共和国にお問い合わせください。(連絡先:上記のとおり)

カクダ共和国加盟調印式

2016年、カクダ共和国が仲間入りしました！

カクダ共和国
(宮城県角田市)

カクダ共和国は、宮城県南部にあり、中央を南北に鉄道が走り、阿武隈川が流れる盆地に位置しています。市内にJAXA角田宇宙センターがあることから、これまで「宇宙」をテーマとして、「明日の宇宙を拓くまちづくり事業」を展開しており、JAXAと連携したイベントなども開催しています。

第43回 相模原市民桜まつり

72万人のふるさとづくり



2016年4月2日、「相模原市民桜まつり」内で各共和国から首脳が出席し、カクダ共和国(宮城県角田市)の加盟調印式が行われました。

この日は、毎年恒例の銀河連邦各共和国による、それぞれの共和国の特徴や特産を紹介する「お国自慢」の他、銀河連邦と関わりが深いJAXAから小惑星探査機「はやぶさ2」などのJAXA宇宙科学研究所の取り組みについての紹介を行いました。

今後は、角田市を含む5市2町の7つの共和国が、文化、スポーツ、防災などの幅広い分野で、より一層活発な交流を続け、友好を深めていきます。



銀河連邦フォーラム 2016開催

2016年10月15日から10月16日まで、ウチノウラキモツキ共和国において「銀河連邦フォーラム2016」が開催されました。銀河連邦関係者、約30名が出席し、講演会や各共和国間での近況報告や情報交換会、交流会を通してさらなる共和国間の交流を深めました。

また、講演では、エネルギーを地産地消する先進地福岡県みやま市で設立されている「みやまスマートエネルギー」の磯部達社長を講師に招き、「肝付町を中心とした大隅スマート半島づくりに向けて」と題して、肝付町が進めているエネルギーを地産地消する取り組みの紹介などを行い、これまでの再生可能エネルギーに対する取り組みや今後の肝付町の可能性などについてお話いただきました。その後、各共和国の取り組みの情報交換を行い、翌日は、肝付町の約900年続く伝統行事「流鏝馬」が開催される「やぶさめ祭」でのお国自慢に参加するなど交流を深めました。



インターステラテクノロジズ社 ロケット開発、着々と進行中

大樹町内でロケットの開発を行っているインターステラテクノロジズ株式会社(IST)は、国内の民間企業単独では初となる宇宙空間(高度100km)に届く観測ロケット「モモ」を開発中です。ISTは現在までに、推力1.2トン級ロケットエンジンの地上燃焼実験やロケットの自律飛行制御実験等を行っており、これらの技術を結集させて2017年内の「モモ」打上げを目標に開発を続けています。



大船渡市産業まつりで各共和国と交流！！

2016年10月15、16日の両日、大船渡市民体育館にて、「復興！第36回産業まつり」が盛大に開催されました。この産業まつりは東日本大震災発生後、皆様のご支援をいただいで、2013年に復活し、今回で3回目の開催となりました。震災前から各共和国の方々には多くの出店をいただいております。各共和国の特産品は、市民にも好評ですぐに売り切れる人気商品です。



油井亀美也宇宙飛行士による 記念講演会

2017年1月14日、JAXA宇宙飛行士 油井亀美也さん(長野県川上村出身・佐久市の野沢北高校出身)が、佐久市子ども未来館の名誉館長に就任したことにともなう記念講演会「宇宙で気づいた大切なこと」が開かれました。

開会式で油井さんは、佐久市から預かり国際宇宙ステーション(ISS)に携行した旗を柳田清二市長に返還しました。

また、油井さんは講演会で地球の環境や夢を持ち続ける大切さを訴え、会場の子もたちとの質疑応答では、「宇宙に生命はある？」との質問に「宇宙にはとてもたくさんの銀河があり、星がある。必ず生命はあるし、知的生命体も必ずいると思う」と答えるなど、来場の家族連れら約700人を沸かせました。



「イプシロンで夢を射とめよう！」で メッセージを募集しました

肝付町とJAXAの共催で、イプシロンロケット2号機打ち上げを前に皆様から夢・応援メッセージを募集し、6,471件のメッセージをお寄せいただきました。今回の機体デザインに、更に進化するイプシロンと肝付町伝統行事「流鏝馬」の矢をモチーフにした二重の矢「ダブルアロー」のデザインをつくり(写真右)、皆様からのメッセージを印刷し、2段モータに貼り付けました。

皆様の夢を託したメッセージや、打上げ応援メッセージを載せたイプシロンロケット2号機が2016年12月20日に打上げられました。



銀河連邦各共和国 からのお便り

能代で初めての プロジェクションマッピング開催

夜空の遊園地と題したイベントが2016年9月3日に「のしろ銀河フェスティバル2016」において行われました。当日は、大勢の家族連れらが、「能代市子ども館」の外壁に映像を映し出すプロジェクションマッピングや映画の上映など、幻想的な光景を満喫しました。このほか、光るペットボトルロケットの打上げ体験やペンライトで描く夜空にお絵かきなどを行い、長蛇の列ができていました。2017年は銀河連邦建国30周年記念事業と共催でプロジェクションマッピングやステージイベントを実施する予定です。



小惑星探査機「はやぶさ2」応援！ 玉手箱弁当試食会を実施

JAXA相模原キャンパスの見学会と「はやぶさ2」が目指す小惑星「リュウグウ」にちなんだ玉手箱弁当の試食会を2016年6月12日に開催しました。見学会では普段は見られない施設もご覧いただきました。また、試食会では4種類の玉手箱弁当が配られ、弁当箱を開けた参加者からは、「おー！」という歓声があがりました。参加者は写真撮影や「はやぶさ2」の津田プロジェクトマネージャや吉川ミッションマネージャ等の運用関係者と一緒に玉手箱弁当を楽しみ、宇宙への夢とロマンを膨らませた1日となりました。



JAXAタウンミーティング 「宇宙のまちづくりを 市民と話し合う」を開催

2016年6月12日かくだ田園ホールで「JAXAタウンミーティングinかくだ」が開催され、133人が参加しました。JAXAタウンミーティングとは、市民とJAXA職員や市職員が宇宙や科学分野の研究開発について語り合う意見交換の場です。JAXA職員は「地元企業と連携して角田が元気になるお手伝いをしたい」と話し、会場からは「我々の有している技術がJAXAと連携できるかどうか話し合いの場を持ちたい」などの話が出るなど、活発な意見交換が行われました。

